

講座名： 大統領でたどるアメリカの「分断」の歴史

講 師： 三島 武之介 先生(国際人文学部准教授)

日 程： 11 月 20 日、27 日、12 月 4 日、11 日

市民未来大学 健康・趣味・教養コースの受講生のみなさんとともに、独立戦争から南北戦争前夜までのアメリカ合衆国の歴史を、国論を二分する政策論争を展開した大統領たち——ジョン・アダムズ(第2代)、トマス・ジェファソン(第3代)、ジョン・クインシー・アダムズ(第6代)、アンドリュー・ジャクソン(第7代)の歩みを中心に振り返りました。

受講生のみなさんは、教員からの問いかけにも大変熱心にお答えになりながら、大きな政府か小さな政府か、積極財政か緊縮財政か、工業国家か農業国家か、親イギリスか親フランスか、保護貿易か自由貿易か、奴隷州か自由州かなどをめぐる当時の論争を根気強く追体験していただきました。おかげで、革命期のアメリカが、たえず国家分断の危機に見舞われながらも、これをヨーロッパからの自立、連邦の保持と拡大といった共通のビジョンによって乗り越えてきたことをご理解いただけたと思います。

～受講生の声～

- 学生時代は世界史が好きではなかったが、分かりやすく解説していただいたおかげで興味を持てた。
- 米国以外の他国の歴史についても学びたくなった。
- アメリカの歴史の複雑さを理解できた。

